

提出 順番	No. 6	令和 元 年 8 月 30 日 (午前) 午後 11 時 40 分受領
----------	----------	--

令和元年 8 月 30 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 中橋 友子



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>安心して働き、住み続けられる幕別に</p>	<p>少子・高齢化が全国的に進む中、政府は将来の人口目標を2060年に1億人、経済成長率GDPを1.5%～2%と定め、2014年「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地方はその具体化が求められた。幕別町では対応する計画として「幕別町人口ビジョン」及び「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27年～平成31年)を策定し今年度が最終年となっている。人口ビジョンでは出生率の向上を目指していたが、目標の1.55には届いていない。背景には1996年以降、派遣労働法、労働法制が改定され、製造業をはじめそれまで派遣が禁止されていた26業種まで規制緩和されたことにある。現在労働者の約4割は非正規雇用であり、中でも若者の2人に1人が非正規雇用の不安定な状況に置かれている。最低賃金も生活保護以下の生活水準であり、既婚率が年々低下している。雇用と暮らしを守る政策抜きに出生率の向上は困難と考える。一方、十勝全体では農業生産が伸び去年の粗生産高は3648億円、経済波及効果は約2兆9千億円、食料の受給率は1200%と報じられている。また豊かな自然を活用したエネルギー事業の取組も全市町村で推進されている。自然エネルギー事業は雇用増の期待はもとより、地産地消を目指す中で圏域内の経済の流出を防ぎ、循環型の経済も期待される。企業誘致にだけ頼るのではなく、基幹産業の農業を生かした6次産業の創出、十勝圏で地産地消のエネルギー事業に積極的に取り組み、将来ともに活気があり、安心して働き、住み続けられるまちづくりは町民の大きな願いである。</p> <p>以下の点を伺う。</p>

	<ol style="list-style-type: none"><li>1 「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の到達と課題</li><li>2 特に若者の雇用安定の取組</li><li>3 町職員の不安定雇用の解消</li><li>4 家畜糞尿バイオガス事業の推進をはじめ、再生可能エネルギー事業の推進</li><li>5 十勝圏での再生可能エネルギーの地産地消の取組を積極的に提唱</li></ol>
--	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。